

5 市民からの意見の概要

(1) 中間報告概要版及び保護者向けパンフレットに寄せられた主なご意見

1 川崎式で「生きる力」をつける

性別	年代	お住まい	要望
女	30代	中原区	・ 読書の推進
女	30代	幸区	・ 学力以前に、人間としてのルールを教えるようなカリキュラムが必要では。
男	40代	宮前区	・ 「生きる力をつける」ではなく、「生き方」を教えるべきではないか。
記載なし			・ 子どもの成長につながるような子ども主体の具体的な目標が必要 ・ 英語だけでなく多言語の教育も必要
女	30代	高津区	・ 30人学級、少なくとも隔週の週6日制にして欲しい。
女	50代	多摩区	・ 少人数制(30人以下)を早急に実施して欲しい。どのプランも、40人以上では機能しない。
記載なし			・ 少人数指導は、一学級20人以下にして欲しい。 ・ 学力向上プログラムの内容を学校ごとに明記し、保護者が学校を選べるようにして欲しい。
女	30代	高津区	・ 少人数制、チームティーチングなどをもっと推進して欲しい。
女	40代	麻生区	・ 少人数(30人以下)指導の早期実現。 ・ 学習内容の3割削減に伴い、それを補う形で川崎市独自の教材を作成して欲しい。
女	30代	高津区	・ 1クラスあたり、先生を2人つけるか、あるいは生徒を30人以下にして欲しい。 ・ 暴力を振るう子どもに対する対策が必要。
女	40代	高津区	・ 画一的な男女平等ではなく、性差を尊重したものにしたい。
記載なし		宮前区	・ 「川崎市子どもの権利に関する条例」についての学習の実施。 ・ 少なくとも午後の週2回、生活に密着した学習や将来の職業を考える学習・社会教育事業への参画などを総合学習と併せ実施。
記載なし			・ 東京都の「心の教育革命」のような、道徳教育の充実に触れるべき。 ・ 学級崩壊への対策を講じて欲しい。 ・ 過度のジェンダーフリー、性教育は不必要。
女	40代	川崎区	・ 学習速度が遅く、内容も低レベル。もっと厳しくできるように先生の立場を作ってほしい。
女	30代	麻生区	・ 中学で進路指導をしてくれず、「塾で決めて」と言われた。塾は高いし皆が行けるわけではない。学習内容・先生のレベルを上げてほしい。
女	40代	高津区	・ 夏休みなどの長期休暇に、昔あった学習帳のようなものを出して欲しい。宿題がないのは不安。
女	20代	多摩区	・ 教科書は薄く、授業も易しく、学力低下は当然。塾に通わせるお金がない人もいる。確かな学力の育成に期待。
女	50代	幸区	・ 国語の教育を充実させて言葉遣いを良くしてほしい。中高生女子は特に酷い。美しい自国語を喋るための習慣をつけさせて欲しい。
男	50代	幸区	・ 道徳教育をもっと充実させ、ボランティアなども取り入れたらどうか。
男	30代	川崎区	・ 現実的で物分りの良いプランは存在しないのでは。学級数・学校数の減少は否定できない。
女	30代	麻生区	・ 個性をのばす グループではなく一人でクラスの前で発表したり、日記ではなく創造力を使って物語を書いたりなど。運動会でもチームではなく個人競技や個人賞を設けては。
女	30代	高津区	・ 現在、学校の授業で意欲的に発言する生徒で、学校の学習内容だけで勉強している生徒が何人いるか調査してみたらよい。
女	40代	多摩区	・ 英語(会話)の授業を取り入れて欲しい。早期実現をお願いしたい。
女	40代	宮前区	・ 施策は頼もしい。次回は、施策例をより具体的に提示、実施校の公開は常に発信して欲しい。 ・ 「生きる力」の一環として、愛護センターに収容された犬達の見学をさせて欲しい。「命」とは何か感じられると思う。
女	40代	多摩区	・ 総合学習の英会話の授業内容に疑問を感じる。英会話のみで英語のスペル等を教えているわけではないので、中学になってから苦労している。これなら中学からやるのと変わらないので、そのために国語や算数の時間をつぶすことに疑問を感じる。

女	30代	高津区	<ul style="list-style-type: none"> 40人学級で教室内が窮屈。先生も一人ひとり把握できているのか疑問。30人学級にして欲しい。
記載なし	30代	幸区	<ul style="list-style-type: none"> 公立小学校の現状は「だらしのない子ども」を作る場所。40人学級で家庭のしつけもできていない子ども達にあわせて教育されるので、何のために学校にやっているのかわからない。 勉強は塾に頼るしかない。 一体何年後に成立するのか。何度もこういう話を聞いた。ゆとりのおかげで悪くなるばかりなのでいい加減にして欲しい。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> 現在のように教員が社会経験のない状態では、「生きる力」をつけるのは無理。社会経験豊富な人材の登用を期待する。 学力向上を真剣に検討するなら教科専任制をとるべき。
男	40代	川崎区	<ul style="list-style-type: none"> 運動会で、児童が少ないのに無理やり4チーム作ったり、お弁当の時間を家族ではなく子ども達だけで取らせたりすることに疑問を感じる。親と子を引き離すことで、自己中心的な子どもが増えてきたのではないか。
男	20代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 落ちこぼれを作らないよう、基礎重視の教育・優劣をつけることを極力抑える体育というような「ぬるま湯」の中で「たくましい力」をつけることができるのか疑問。自己尊重を目指す幼い時代だからこそ、自分の力を試す場が教育の場が必要である。
男	40代	中原区	<ul style="list-style-type: none"> こども会議を教育・指導の場とのみ捉えている人が多い。子どもと同じ高さ・視点で子ども達の意見表明の場として認識する必要がある。 「学校の常識」が「世間の非常識」ということがあり、子どもの基本的人権が守られていない。
女	40代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 平日5～6時間と疲れて帰宅。友達と遊ぶゆとりも時間もない。 共働き家庭の子は土日はサークルやスポーツに入っているが、土日を家族で過ごす子と、サークルに入っている子などがバランスをとってうまくやっているか不安。
女	30代	幸区	<ul style="list-style-type: none"> 個人面談で、「他の子は何もしなくてもこれくらいできる。家でみてあげて」といわれた。出来る子だけを見て出来ない子は切り捨てるところが学校か。
女	50代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> 映画を学校の行事として公民館で見て、その時の感動を今でも覚えている。今は、そのような生き方に影響を与える機会があまりない。 映画だけでなく、話題の人・尊敬できる人（スポーツ選手や俳優など）の体験談等を聞けると良いと思う。
男	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成度を客観的に測ることができるような指標を作り、数値でチェック。制度導入後も定期的に数値をチェックし、改善できるように見直しを行う。 教える側を中心にした制度を学ぶ側を中心にしたものに改める。学習内容を個人が選べるようにする。小学校から単位制にする。 幼保一体化のみでなく、教育と福祉を一体化し、市民の生活の質を高めるような組織に改める。 子育てアドバイザーが子育て中の人・全ての家庭に定期的に訪問、相談や話相手になる。
女	40代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 親が進んで「子ども会」や「親子主催イベント」に出ない限り、学校・習い事のための生活になっており、人間としての成熟をできるような場がないのが残念。 自分達だけの狭い世界から、広い視野を持って周りを見られるような教育を推進して欲しい。（総合学習で地域の問題点をどのように解決するか考えさせ、実行させるといような授業をやっている学校をテレビで見た。）
記載なし	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> 英語は、小学生からの取組が必要。少しでも早く取り入れて欲しい。 終戦記念日でもテレビでは日常の番組が流れ、戦争・平和についての知識を得ることが出来ない。今イラクで起きていることなども積極的に子どもたちに教えていって欲しい。
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 小学校で行うコンピュータ指導は、必要なものか？高校・大学からでも遅くないような気がする。犯罪の低年齢化にもつながっているのでは？ 放課後、もっと子ども達がのびのびと体を動かして遊べる公園などの環境整備を真剣に考えて欲しい。
女	30代	幸区	<ul style="list-style-type: none"> 少人数指導、チームティーチングは是非推進して欲しい。1学級40人は多すぎ。
女	40代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> 行事の為に1週間練習に明け暮れたり、部活中心だったりして、学業の定着ができない。結局塾に行かせることになる。
女	30代	多摩区	<ul style="list-style-type: none"> 1クラスあたり、40人は多い。学区の見直しや、35人越えたら一クラス増やすなど対応をして欲しい。

女	30代	高津区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数学級を進めて欲しい。40人では多すぎ。 ・ 子どもと先生の個別面談を導入し、クラスや個人の問題など親や友達に言えない悩みなどが打ち明けられるような信頼関係を築いて欲しい。 ・ 研修なども力を入れ、適性のない教師は徹底した処分などを考えて欲しい。
女	30代	中原区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 30人に満たないというので無理矢理40人のクラスに押し込まれた。30人学級とは、「最大30人」ではなくて30人を切らない40人学級なのか？それなら20人学級にして欲しい。 ・ 私立校との格差が縮まるような授業内容を望む。今のゆとり教育は、子ども達の芽もつぶしてしまうような内容ではないか。
女	30代	幸区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一クラスの人数を減らし、さらに学力別にしないと差がありすぎる。
女	40代	多摩区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高機能自閉症などでも、中学では学習面で健常児と同じ試験を受け、評価を出される点が困る。努力点での評価を出し、本人に将来も学ぶという意欲を出せるようにして欲しい。
女	40代	川崎区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の授業の取組が遅れている。 ・ 宿題が出ないで困っている。 ・ 授業時間が少ない。 ・ レベルが低すぎる。 ・ 10年計画ではなく改善して欲しい。勉強する子は自分で、という考えはやめるべき。
女	40代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 30人以下の少人数学級の実施、または2人担任制の導入を早急に変更して欲しい。スクールカウンセラーの導入をして欲しい。
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと他人の気持ちを理解できるように道徳の時間を増やして欲しい。勉強ができて頭の良い子どもが必ずしも良い大人になるとは限らない。 ・ 体育の時間も増やして欲しい。公園などが危険で（変質者などで）気軽に外で遊べないので運動不足。
女	40代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通学級に通っている軽度発達障害（高機能自閉症）の子どもを含め、特別支援教育に対する先生方の認識が高まっているかが疑問。障害は「わがまま」ではないことを分かって欲しい。 ・ 軽度発達障害児を受け入れる障害児学級の増設、教師の増員、養護学校への受入体制を整えて欲しい。
女	40代	高津区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害児学級について触れられていない。 ・ 何も障害の勉強をしていない教師が障害児担任になったり、理解が無い。もっと障害児について勉強して欲しい。
記載なし	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校と親、教師と親との意思疎通のなさ、協調関係の無さを感じる。学校は先生と子どもたちの密室のように感じられる。 ・ 授業のお手伝いや、親達による家庭科や社会科などの生きた学習（仕事の話や出産の話など）の時間を設ける等。風通しのよい教室であって欲しい。
女	30代	幸区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「特別支援教育」は素晴らしいが、実現には人が必要。十分人が配置できるよう、財政的バックアップをして欲しい。 ・ つくって終わりにならないプランをつくって欲しい。
女	40代	多摩区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絶対評価になって、入試時の内申点のことが心配。市や学校ごとにばらつきがある。（川崎は横浜の平均内申点より低いということは、川崎の教育が劣っているということになるのではないか。）
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軽度の障害児を普通級に受け入れてくれるのは良いが、介助員もつけてもらえず、上級になっても保護者の付き添いを要求されるなど、無理がある。 ・ 障害児級も、8人に1人の教員配置では少なすぎる。2人に1人の教員でも手一杯。 ・ 療育センターも、他市に比べ指導力・やる気の無さが顕著。プロ意識が感じられない。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> ・ いずれ特殊学級が廃止されるとのこと。障害を持つ子ども達もきちんとした指導を受けられるようにして欲しい。現状のままでは無理。
女	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 30人学級の実施をお願いしたい。
女	40代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いのちの大切さ」を教えるという趣旨で各教室で動物（ハムスター）を飼うことがあったが、教師の知識不足でしっかり世話ができず、死なせてしまう件が何件もあった。ちゃんと世話ができて死なせてしまうくらいなら何もしない方が良く思う。
女	30代	中原区	<ul style="list-style-type: none"> ・ ADHDという障害を持つ子がいる。何も支援してもらえず、この先どうやって育てていけば良いかわからず困っている。
女	30代	中原区	<ul style="list-style-type: none"> ・ ADHDという障害を持つ子がいる。川崎には普通級と障害児級しかなく、大変困る。

女	40代	宮前区	・ 絶対評価体制が、あまりに大人を評価するような減点制で、マイナスになってもレボートや別の行動によりプラスされるチャンスがあることが教育ではないか。「ゆとり」や「個性」が思春期の成長の特質を加味して適切な評価体制となるよう期待。
記載なし	40代	宮前区	・ 致命傷になりかねないひどい暴力をふるう子がいるが、学校側は全く対応してくれない。外部からの安全だけでなく内部の安全をもっと真剣に考えてほしい。
男	40代	川崎区	・ 過度のジェンダーフリーは問題。運動会など、身体能力的な男女差は考慮して欲しい。
女	40代	宮前区	・ いじめ・暴力問題に、学校としての取組が必要では。
	70代	幸区	・ 暴力等の問題を抱える生徒への対策を講じて欲しい。
女	30代	宮前区	・ 子ども 子どもへの過度の暴力に関する対策をもっと真剣講じて欲しい。
女	40代	宮前区	・ 火気で脅したり、万引きを強要したり、気に入らない子を殴り続けたりする子が居る。暴力を振るう子どもの処置をしてほしい。
女	30代	宮前区	・ ハンディキャップのある子をもっと大切にした福祉教育がベースになるようなプランにして欲しい。
女	40代	記載なし	・ 専門家の配置など、特別支援教育を充実させて欲しい。
	記載なし		・ 競争でない運動・スポーツに重点を置いて欲しい。
女	40代	多摩区	・ 運動会でかけっこをなくさないでほしい。
女	30代	宮前区	・ プールがない学校があることに驚き。もう少し体育やプール指導に、力を入れてはどうか。

2 「個性が輝く学校」をつくる

性別	年代	お住まい	要望
女	30代	幸区	・ PTA のあり方をもっと開かれた形で話し合えるようにして欲しい。現状は管理の強化・権威的で「重点施策」とは正反対。 ・ 役員の教育理論は、理想プランに近いが、実際の行いは正反対で矛盾しており、子ども達に悪影響。
女	30代	幸区	・ もっと音楽に力を入れて欲しい。クラブ活動など。音楽発表会も年1回行って欲しい。
記載なし	40代	麻生区	・ 住宅が増え、生徒の収容力が遅れている。生徒の人数と教師の数に余裕が必要だと思う。「個性が輝く学校」等掲げても、先生に余裕がなければ意味がないのでは。
男	40代	麻生区	・ 学校評価制度、特色ある学校づくりは、差別を助長するものとして反対。
女	30代	多摩区	・ 学区外の学校も選択して入学できると良い。子どもにあう家庭の教育方針に合う学校を選びたい。
女	30代	多摩区	・ 現実には、どの小学校にも個性が感じられない。川崎市だけでなく神奈川県の実績にも問題があるのでは。
	記載なし		・ 少人数指導は、一学級20人以下にして欲しい。 ・ 学力向上プログラムの内容を学校ごとに明記し、保護者が学校を選べるようにして欲しい。
男	40代	幸区	・ 「開かれた学校」になっていない最大要因は「説明責任」がなされていないこと。学校からの情報にまとまりがないほか、地域との連携や総合的な学習の時間についても説明不足。 ・ 学校評議員制度の遅れが目立つ。

3 「教職員の力」をのばす

性別	年代	お住まい	要望
	記載なし		・ 事務職員を活用して欲しい。
記載なし	40代	高津区	・ 教師の人材育成は必要だが、研修日程を再考して欲しい。(研修のため教師不在で授業を自習にする等は避けて欲しい。)
女	40代	川崎区	・ 定期的に子どもによるアンケートを実施し、教育現場・教師の見直しを図って欲しい。
女	40代	高津区	・ 教師によって実力の差がありすぎるのは問題。教師育成に力を入れて欲しい。
女	40代	中原区	・ 先生と親の個人面談のように、生徒と先生の個人面談を設けるなどして、一人ひとりの子どものことを分かって欲しい。
男	50代	麻生区	・ 教科指導の力をつけて欲しい。 ・ 教師の通知表を作り、保護者・生徒による評価を実施。それに伴って教師への指導を行う。

			<ul style="list-style-type: none"> 教師として不適切な態度をとった場合、処罰を設けるなどが必要では。
女	40代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 校長・教頭の質の向上が必須。生徒を評価するように、校長・教頭への評価体制をつくるべき。
記載なし	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> 校長の登用・採用評価方法を検討して欲しい。民間から広く採用するなど。
女	40代	高津区	<ul style="list-style-type: none"> 名前で呼ぶ、さん付けをする等の教師の教育を徹底して欲しい。
記載なし		宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 管理的でない柔軟な思考力を持つ教師を育てるような研修の実施。
女	30代	多摩区	<ul style="list-style-type: none"> 障害児学級の重度・軽度による差を考えて欲しい。質の向上が必要。 専門の介助員が、ボランティアによる介助が毎日必要。 障害児担任以外の教師・校長による継続的な質のチェックが必要。 普通学級での、福祉学習の内容を検討・充実させ、理解を深めて欲しい。
女	40代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 障害児学級の先生を増やして欲しい。 普通学級から異動してくる先生の事前研修を徹底して行って欲しい。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> 美術・家庭科の専門科目の先生に来て欲しい。
女	40代	高津区	<ul style="list-style-type: none"> 絶対評価を的確につけられる先生が少ない。内申のつけ方も疑問が多い。
女	30代	幸区	<ul style="list-style-type: none"> いじめをしている子の親に話がいけないので親は何も知らず、悪化する。適切な連絡処置を取れる先生を。
女	40代	川崎区	<ul style="list-style-type: none"> 枠からはみ出した子を問題児扱いするのでなく、個性として理解してほしい。 絶対評価は、基準がわかりにくいという公正な評価をできる教師がいないので、反対。
女	40代	高津区	<ul style="list-style-type: none"> ベテランの先生が新人研修にあたって担任を持たず、新人の先生がいきなり担任を持つのはおかしい。
女	40代	中原区	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みのプール開放は7月中しかないのに、先生が立ち会いに来ない。夏休み中先生は何をしているのか。 視野を広くするために先生方の社会経験の必要性を感じる。
男	50代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> 絶対評価を公正につけられる先生がほとんどいない。自分の部活に入っている生徒をひいきしたり、自分の答えられない質問をした生徒にひどい点をつけるなど。 教え方の酷い先生や、暴力を振るう先生を保護者側が指摘しても、学校側は聞いてくれない。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> 部活の顧問があまりにも酷い
男	50代	幸区	<ul style="list-style-type: none"> 「先生」の呼称を実務経験2年、教員試験(2回目)合格後与える制度と取り入れるなど。それまでは「助手」、「補助員」、「先生補佐」等と呼び、その間は副担任までとするなど。先生と呼べる質の人がいない。先生の資質の向上を真剣に考えて欲しい。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> 授業参観で、多感な年齢の子どもに接する態度とは思えない先生を見た。学校側も先生の資質を把握して対処して欲しい。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> 指導力不足や体罰・不祥事はモラルの欠如。教育関連の研修だけでなく社会常識的なマナーの研修を徹底しなくてはいけないと思う。 給与、昇進等と連動させた人事評価システムを構築し、また評価する管理職の質の向上を図らなくてはいけない。
女	30代	川崎区	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の教育が必要。先生側は道徳観念の大切さを口では説くものの、口だけのような気がする。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> 数年後とは遅すぎる。今すぐの改善を求める。 教員採用試験を厳しくして欲しい。地域によって進路に格差ができてるのは酷い。学校は実態を把握すべき。
女	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> 新卒の先生には、5年以上実務経験のある教師を補助につける等の指示を各校に出して欲しい。
女	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> プランはすごいが先生のレベルが低い。先生を選ぶ教育委員会にも問題があるのでは。 ゆとり教育のわりには子どものことを分かっていないし、ゆとりではなくただ必要なことを省いているだけ。やる気のない先生は辞めるべき。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> 生徒のゆとりより先生のゆとりがない。 「教職員の力」を伸ばすために多くの研修や研究授業をするより、子どもたちとのゆとりある時間を持つことが必要では。
女	記載なし	高津区	<ul style="list-style-type: none"> 先生と呼ばれ続けて常識はずれになっている人がいる。定期的に研修で民間企業などで働くなどしたらどうか。 評判が悪ければ、先生に適しているのか時々テストするなどして欲しい。

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般企業で言えば教師＝営業・子ども＝お客様であるのにも関わらず、子ども・保護者の意見・評価が全く反映されていない。 ・ 教師間だけでない評価方法を導入すべき。 ・ 教員不適格者が改善のみられないまま1年毎に学校を変わるような人事制度は廃止すべき。
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「新人研修」を受けるような新人の先生が担任を持ってよいのだろうか。学校を卒業したての社会人としても未熟な方に子どもを預けることに抵抗を感じる。新人研修の中に一般企業などに属し「世間」を知っていただくようなカリキュラムを設けて欲しい。
男	40代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修とって教師達をしめつけることは、いきいきした教室づくりに逆行しており、反対。研修はあくまで自主的であるべき。
記載なし	40代	中原区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員を多様化させては。外国人・在日・障害者など、非常勤で良いから違う境遇の人達が働くと、先生達も違いを認め合う意味を理解できるのではないかと。
記載なし	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> ・ やる気のある先生が集まらなると評判の学校。行事も少ないのに指導意欲が無いのが感じられる。(学校は掃き溜めとまで言われている)。 ・ 教師の質が悪すぎる。
女	40代	中原区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前のミニマムスタンダードよりは良くなってきたが、とにかく一般の人より人間性の劣る人を先生とは呼べない。
女	40代	幸区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生としてというより人間として疑問の先生がいる。挨拶も返さず、早口ですぐに怒る等々。プリント等もスタンプを押すだけで指導や励ましのコメントひとつない。子どもに対してもひいきが激しい。こんな教師を置いている学校に疑問を感じる。
女	30代	高津区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年のように問題を起こす先生が数名出ている。そのような先生に税金から給料が払われている。税金の無駄遣いはやめて欲しい。 ・ 障害児学級の子をつねる・たたく・言葉の暴力などで子どもを脅したり、産休で2年以上学校に出てこなかったりするのに疑問。
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「塾に行っている子が多いので、学校は息抜き場でありたい」と言った教師が居る。担任によって偏りもあり、宿題の出し方について学校全体で統一できないものか。新任の先生の研修も、毎週平日にすることに疑問。
女	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもを好き嫌いで差別する教職員が多すぎる。いじめまではいかないがあからさますぎる。 ・ 職員の適性検査などで問題があったような人が担任を持つことに疑問。
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新任の先生のクラスでは、物が紛失したり、トイレに捨てられたり、子ども達が暴言を吐いたりする事が多い。経験不足でクラスを持つことに疑問。もっと経験をつんでから担任になってくれないと不安。
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生によって資質に差がありすぎる。「家庭側からの教職員評価のしくみ」を作りたい。
女	40代	多摩区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公立小の音楽の先生になるには、どのような資格が必要で、どのように能力チェックをされているのか疑問。明らかに間違えた譜読みやピアノに、子どもが頼りなさを感じている。
女	40代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校現場・教育者の質が低い。問題が起きたときに、対処せず放置したりするのは疑問を感じる。
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員は税金で養われていることを自覚してもらいたい。 ・ 少なくとも親に対する説明責任と意見交換を行う責任を果たして欲しい。 ・ 何故親が越境させてまで隣の学校に通わせようとするか、考えて欲しい。
女	40代	中原区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿題を出さず「家で見てあげてください」と、子どもの基礎学力をつけることを教師から丸投げされている。 ・ 川崎市内の先生達は手を抜いていると感じている親は多い。
女	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何故この人が教師をやっているのかと思う先生が多い。子どもの名前を覚えられない、罰を与えて言うことをきかせようとする、ヒステリックに怒る、等々。 ・ 署名活動が起こるほどの評判の悪い先生は、やめさせることがあっても良いのでは。公務員の待遇は良すぎる。
女	40代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の質の低さ、授業・テストのいい加減さ、いじめなど諸問題に対しての逃げる態度等。子どもの成長の芽を摘んでいる。
女	40代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合教育センターで教員の児童心理の研修をし、経験をつんで欲しい。現場で問題が起きてから先生が動揺し、精神的に参っているのを見ると、子どものフォローに不安を感じる。

記載なし	40代	幸区	<ul style="list-style-type: none"> ・ サラリーマン教師や事なかれ教師が高い評価を受けるようなシステムはやめて欲しい。事務処理が評価されるのではなく子どもに心から接してくれる熱い先生が評価されるようになって欲しい。
女	40代	川崎区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の質の低さが酷い。ひとりで間食をしたり、居眠り、暴力等。学校側に苦言を言っても全く対処してくれない。 ・ 1年ごとに、父母に担任の評価やアンケートをさせて欲しい。
女	30代	多摩区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員以前に、校長・教頭に問題があると思う。教育委員会は、毎月各学校を抜き打ちで視察してはどうか。机上のプランでは何も出来ないのでは。
女	40代	川崎区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習速度が遅く、内容も低レベル。もっと厳しくできるように先生の立場を作ってほしい。
女	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学で進路指導をしてくれず、「塾で決めて」と言われた。塾は高いし皆が行けるわけではない。学習内容・先生のレベルを上げてほしい。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在のように教員が社会経験のない状態では、「生きる力」をつけるのは無理。社会経験豊富な人材の登用を期待する。 ・ 学力向上を真剣に検討するなら教科専任制をとるべき。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の人材では学校ごとの創意工夫など無理。校長が定年間で保守的なことが多いので改善が期待できない。 ・ アメリカのように校長職(管理職)専門の人材を育て改革できる体制を取って欲しい。同時に学校選択制を導入して欲しい。
女	40代	多摩区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の不祥事・事件に対する発生後の初期のクレームの対応・処理が悪すぎる。早い段階で事件経過報告と担当教師の処遇等を対処すれば、大きな問題にならないこともある。アンケートよりも、過去の事件・事故の反省をすべきでは。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての施策に共通して「子どもに関わる大人の数と質の向上」、「現場の職員の意識向上を第一に」を検討して欲しい。

4 「地域に開かれた学校施設」にする

性別	年代	お住まい	要望
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ PCなどを用いた情報化教育以前に、情報処理能力として読書力向上のためのプログラムを設けて欲しい。それに伴い、地域の図書室設置や、小学校の図書室の活用を考えて欲しい。
女	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> ・ わくわくプラザでなく校庭開放を。
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校を緑化し、気持ちが和める場所にして欲しい。
女	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏は部屋が暑い。空調等工夫できないか。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> ・ ITなど情報システムの活用が遅れているのではないか。学校・保護者・教師の情報交換などシステムを作ればよいと思う。
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区の人口により40人クラスの学校や30人弱のクラスの学校があり、偏りがある。学区の変更や越境など自由に選択ができれば良いのではないか。
男	40代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校側との情報交換の機会があまりにも少ない。土日・祝祭日・早朝・深夜に時間を共有できるのでは。学・民ディスカッションできる機会を是非設けて欲しい。 ・ 平日の通常時間だけで問題を解決しようとするのはお互いに甘すぎる。
女	30代	多摩区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に支障を来すほどの暑さを解決し、すごしやすい環境を作って欲しい。昔よりも夏の暑さが酷いので必要。
記載なし	30代	中原区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室温の高さに気分が悪くなった。授業に集中できないばかりでなく、熱中症も心配。対応をお願いしたい。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> ・ 「各教室へのエアコン設置」希望。
女	40代	中原区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室が暑すぎて体調を崩す子どももいる。クーラーが無理なら夏休みを2週間増やしてその分冬と春を減らす等、してはどうか。
女	40代	高津区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室が暑すぎて体調を崩す子どももいる。扇風機でもいいから対処して欲しい。
女	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学年1クラスの小規模校では、クラス替えもなく6年間一緒に過ごすのは、親子ともに息が詰まる。クラスでもめ事を起こすと逃げ場なくなるので、本音で言い合えない。子どもがかわいそう。
女	40代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> ・ マンション建設に伴い児童数が急激に増加、図書室・多目的室等がつぶされ普通学級に。少人数学級などできない状態。反面、児童数の減少地域もある。現状を是正して欲しい。

			<ul style="list-style-type: none"> 「かわさき教育プラン中間報告」だが具体的な数値目標などが何もないのでイメージがわからない。具体性を。
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 小学校のトイレの悪臭をなくして欲しい。教育のあり方を考える前に子ども達の環境を考えて欲しい。人権侵害だ。
女	40代	川崎区	<ul style="list-style-type: none"> トイレが汚く、「汚いからイヤ」と入らず、我慢して帰ってくる。トイレ等改装の予定はないのか。
		記載なし	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が快適に学べる環境を作って欲しい。夏は40度近くなる教室で水筒持参禁止、金属の食器での食事など、疑問に感じる。その一方で先生が休み時間や清掃中に不在で、職員室で涼んでいるのはおかしい。

5 「市民の学び」を支援する

性別	年代	お住まい	要望
女	40代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 子育ては子どもだけでなく親へのサポートが必要。子育て支援の施設に対する援助や場所の提供をお願いしたい。
女	50代	幸区	<ul style="list-style-type: none"> 地域・学校での教育とは、子どもに対するものではなく、地域でサポートすることで子どもに愛情を向けられるように、親を育てることが本質ではないだろうか。
記載なし	40代	高津区	<ul style="list-style-type: none"> 市民ミュージアムが赤字とのこと。市内に点在した狭くて使いづらい図書館をまとめ、ミュージアムの建物を使って中央図書館にできないだろうか。
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 川崎市立図書館の貸し出し延期を、電話でも可能にして欲しい。
		記載なし	<ul style="list-style-type: none"> 学びたいことはお金がかかる。もっと安く、あるいはボランティアで教えてくれる団体があると良い。 多くの人々とふれあいながら学べる場所があると良い。
記載なし	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みの過ごし方で、映画も劇もお金がかかる。現状では図書館へ本をかりに行くのが一番気軽。川崎市として、美術館やホールで絵を見たり、工作をしたり、歌や遊びをするようなイベントがあったら良い。

6 「市民の力」を活かす

性別	年代	お住まい	要望
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 教師以外に、地域の一般の方（商店・企業）が参加した授業が行えると良い。 地域（川崎市）の歴史を勉強させたい。 ボランティア・環境問題の活動が欲しい。
女	40代	高津区	<ul style="list-style-type: none"> 中学の部活動に地域の人材を活用できないか。
		記載なし	<ul style="list-style-type: none"> 有害図書を置いているコンビニや書店が目には余るので、地域全体で子どもたちの教育を考えるような環境を作るべき。 わくわくプラザは女子向け。男子も遊べる企画を行って欲しい。
男	30代	川崎区	<ul style="list-style-type: none"> 地元産業・企業などとの連携がなぜ必要かなどの説明が不十分。
女	20代	中原区	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアだけでなく、仕事をする（働く）ことの大切さを知る機会を設け、市内の企業・大学等と連携して産業都市を伝承していただきたい。
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 働くことの重要性を実体験させてほしい。アルバイトでお金を稼ぐのではなく、中高の授業の一環として地域の企業で働いてレポート提出をさせる等。
		記載なし	<ul style="list-style-type: none"> わくわくプラザの事業でさえ、校長によっては放課後の学校施設利用をイヤがっていると聞く。学校を私物化する校長がいる限り、市民の力を期待する方針は成り立たない。施策例にある団体にはわくわくプラザも入れて欲しい。
男	40代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> 一見、個に対応した・住民のニーズに応えたスタイルを見かけ上とっている（このアンケートのように）が、その実国家主義的・全体主義的な志向を強く感じる。学校行事での日の丸・君が代強制などに疑問。
記載なし	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> PTAのパトロールや防犯カメラの設置も大切だが、元警察官の方や警備会社OBの方などシルバー人材を活かして周囲をパトロールしてもらえると良い。
女	20代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 地域に住む外国人の方（親子）と触れあえる場所を作るなど「面白そう、参加したい」と思える環境を作れば、自然に英語を学び、人間関係を学べるのでは。

その他

性別	年代	お住まい	要望
男	40代	多摩区	・ もっと具体的なビジョンが必要
男	30代	川崎区	・ もっと具体的な目標が必要。
	記載なし		・ 高等学校における特別支援教育に関する記載がない。どのようにするのか明記して欲しい。
	記載なし		・ 内向的で閉鎖的なプランのように思える。作成者は学校関係者や学識経験者ばかりでなく、企業経営者や人材担当者、文化・スポーツ等多方面のスペシャリストなどで構成すればいいのではないか。
女	30代	宮前区	・ 横浜市にあるような、子どもが友達と遊べる公園や広場を整えて欲しい。
女	40代	宮前区	・ 給食制度を続けて欲しい。
男	50代	幸区	・ 親の無関心を無くすため、学年初めに説明会を開く。子どもに関して不安を感じたら担任への相談やカウンセリングを受けられる時間や場所を作って関心が持てるようにするなど。
	記載なし		・ 学校でアレルギー性鼻炎だとプールに入らせてもらえない。内科で聞いたところ問題ないとの事。学校だけが入れないことに疑問を感じる。どういう基準なのか分からない。
	記載なし		・ スポーツセンターで、使用時間の不都合が生じている。小学生の学校からの帰りが遅くなり、合気道など教室との時間が合わないため、午後の部と夜の部の間に夕方の部を新設するなどの対策をお願いしたい。
女	40代	宮前区	・ 特別級に入らないで普通級に入っている子どもの態度があまりにも酷く、まわりの生徒に多大な迷惑をかけている。一人のために残りの40人弱が我慢をするというのはおかしい。本人と家族に何もできない教育委員会にも疑問。
女	30代	高津区	・ 津田山駅前に「夢パーク」という遊び場が出来たが、平日学校に行っているはずの時間帯に小中学生が遊んでいる。環境的によくないのでは。
	記載なし		・ 「川崎らしさ」として大枠提示で、現場に任せてきていた状況などを変えて欲しい。 ・ 検討項目ごとに意見聴取会を開いても良いのでは。 ・ 市民に殆ど知られていない教育目標、各校目標、職員評価制度をデータ提示していかなくては、よくわからないまま目標で終わってしまうのでは。
女	30代	多摩区	・ 二学期制にあたり、夏休みを削るなら暑い後半にすべき。体育祭も9月上旬にするなど疑問。子どもの体調をもっと考えて欲しい。
記載なし	30代	川崎区	・ 「教育プラン」あまり意味を感じない。実行できるのだろうか。 ・ 「教育者の指導」は誰がするのか？「体罰の根絶」とあるがそんなに悪いことか？ ・ 「新しい時代の教育」は「古い時代の教育」に戻る方が良いのではないか。 ・ 出来ないことをやっても無駄。子どもの前に親の教育が必要では。
女	40代	麻生区	・ 市内の公園の管理の悪さに驚いている。公園の数も少ない。子ども達が遊べるような広場が必要ではないか。
女	40代	高津区	・ 身近な自然たっぷりの空き地を解放して欲しい。10数年も立ち入り禁止のままになっているのはもったいない。
記載なし	30代	中原区	・ 上丸子小学校の新幹線側の道路の環境を良くして欲しい。ゴミの散乱・車の不法投棄・駐車車両での昼寝や生活者など、子どもをひとりで歩かせるのに不安要素が多すぎる。
女	40代	多摩区	・ 公園でのボール遊び、キックボード、自転車等が禁止され、自由にあそぶ場所がなくなってしまった。遊具等要らないので、自由にボールや自転車ができる広場が欲しい。
男	70代以上	高津区	・ いじめ、不登校、学級崩壊などに、生産現場で用いるQC手法を使って、対策立案 実行 検証 再対策、と結果の出るまで続けることを行ってはどうか。
	記載なし		・ 外国籍の子どもに対する配慮が足りない。具体的な項目を作り、支援して欲しい。 ・ 日本人同士でもいじめが多い。教師（特に担任）が状況把握をし、素早く対処して欲しい。
女	40代	麻生区	・ 給食の費用は安くなったが、ご飯（お米）の回数の少なさにびっくり。ご飯の方が腹持ちがよく、おかずのバリエーションも豊富なので、増やして欲しい。 ・ 小学校のプールを夏休みに開放して欲しい。希望者への水泳教室なども。
男女	40代 50代	多摩区	・ 「秋休み」には絶対反対。意義が感じられない。 ・ 日の丸掲揚問題、男性教員のふしだらな行為、熱意の欠如等で、全体的に教育のレ

	70代		ベルが下がっているのでは。
女	30代	中原区	<ul style="list-style-type: none"> 学校の全ての門に鍵をかけてもらいたい。 クラスに暴れる子が居るが障害児かどうかの診断を、親が興味が無い場合学校でできるようにしてほしい。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> 新川崎駅の下空き地なども公園ができそう。 野球場でも、多摩川の東京側の方が整備されている。
女	30代	幸区	<ul style="list-style-type: none"> 川崎の子どもが、川崎市民だから楽しく遊べる施設が欲しい。立川昭和記念公園や、青山の子どもの城のようなもの。
女	20代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> 危険な道路・場所が多く子どもが歩くことに不安を感じる。学校で集団下校させたり、「みどりのおばさん」のような人をつけたりしてほしいが、学校側は聞いてくれない。防犯ブザーを持たせたら「ブザーで遊ばれては困る」と言われ、今の時代の状況を理解していないのではと、不安。
女	40代	多摩区	<ul style="list-style-type: none"> 中間報告の内容は抽象的でよくわからない。 具体的に、実際どのような活動を誰が誰に対して何処で行い、どのような効果を期待しているかを示してほしい。
女	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> 川崎市教育委員会後援のサッカー協会に登録のサッカークラブで、高学年につれ試合へのエントリー数が減る。コーチが、勝つことだけを考えて指導するのではなく、試合に出られる子を増やすとか、子どもたち全体を伸ばすような在り方を検討してほしい。
女	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> 重点施策は観念的で曖昧な施策。具体的な数値や目標達成時期が欠落している。
女	30代	幸区	<ul style="list-style-type: none"> 何故一時保育をしている保育所が無いのか。もっと幼児教育の場が必要なのでは。 保育所の一時保育も、一時保育児と通常保育児を分けて保育するのはおかしいのでは。
女	30代	中原区	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物アレルギーを持つ子ども達が増加しているので、支援体制を整えて欲しい。給食の表示だけではあまりにも不十分。
女	30代	川崎区	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みのプール開放で、子ども会にまかせて監視が保護者では非常に危険で、指導もなく水遊びでは学校のプールとして疑問。 夏休み40日間のうち、プールが1週間では少ない。監視くらいプロにお願いしてほしい。
女	30代	宮前区	<ul style="list-style-type: none"> 少子化対策として、保育所充実や育児休暇延長ばかりが目につくが、実は子どもが小学生になってからの方が親の負担が多いということが見過ごされている。学校行事（PTA含）は平日昼間で、放課後安心して子どもを預ける場所が皆無。（わくわくプラザは学校との連携がなく、働く親にとって18時までというのは難しい）教育プランの充実はもちろんだが、全国に先駆け少子化対策に取り組んだ学校の在り方を提示してほしい。
女	40代	高津区	<ul style="list-style-type: none"> 1年はプールが6日のみしかない。 わくわくプラザとの連携に納得いかないことが多い。サポーターさん達がプロではないが、言動に疑問が多い。誰の、何のための施設なのか考えて欲しい。
女	30代	麻生区	<ul style="list-style-type: none"> わくわくプラザのおやつシステムがおかしく、申し込みの有無でおやつをもらえる子ともらえない子がいる。そのために行きたくないという子もいるため、システムを変えてほしい。
記載なし			<ul style="list-style-type: none"> わくわくプラザの役割が何か。「見守る」というより「監視」という気がする。「先生一緒に遊ぼう」と誘われても遊べない状況。 スタッフの質を高め、スタッフの人数を増やすことが必要。 スタッフの勤務条件についても、週18時間と制約があるため、資質のある人も給料のために他に流れてしまう。また、3年間というのも、入学から卒業までを見守れない期間で、疑問を感じる。

(2) 中間報告市民説明会での主なご意見
プラン全体について

番号	市民からの主な質問・意見・要望	回答、または、今後の対応の考え方
1	本プランは、いきいき懇談会の改訂版と理解しているが、「いきいきとした川崎の教育をめざして」と本プランはどのような関係か。 いきいき懇談会の提言以降の20年の取組について、どう総括・検証を行ったのか。	本プランは、いきいき懇談会の提言の改訂版ではない。提言の理念は引継ぎながら、その後の時代や社会の変化に応じて、具体的な施策を再検討するものという位置付けである。提言の総括は、中間報告の「現況・課題」の部分で行ったと考えている。
2	市行政改革プランとの関わりについて説明してほしい。	市の機関である教育委員会として、行政改革プランを踏まえて、教育プランを策定する。
3	策定委員会や部会では、憲法、教育基本法を遵守する方向で議論しているのか。	川崎市の教育プランを策定する策定委員会や部会の議論の対象ではないと考える。
4	中間報告は、方向性は見えているが、具体的な進め方が見えない。 中間報告の内容は総花的過ぎるので、プランの中での優先度、手法、手順を明記すべき。喫緊の課題が山積しているので、それへの対応を最優先すべき。	具体的な進め方、優先順位、手法などについては今後、検討を進め、最終案には盛り込む予定である。
5	プランの目標管理、年度ごとの結果の市民への公表を行ってほしい。 プラン実現のための実施・評価・改善策が具体的に示されていないがどう考えているのか？	プラン策定後の評価、見直しの手順などについては、今後、検討を進め、最終案には盛り込む予定である。
6	地域の実態の特色を制約要因として考えるのではなく、プラスで考えてもらいたい。 地域との連携はという視点は、川崎の教育を考える上で、大変、重要なものだと考える。 「川崎らしさ」をどのように捉えているのか？	既に、行政区単位での施策推進や拡大教育委員会など、川崎らしさ、地域の実態、地域との連携を盛り込んでいるが、今後、さらに検討を進める。
7	地域の実態・ニーズに応じた教育とはどのようなものか？	これまでの画一的な教育ではなく、地域の特徴の違いを踏まえた、きめ細やかな教育をイメージしている。
8	プラン策定後、これまでの教育と、具体的に何が変わってくるのか。	学校教育に対して、住民（子どもや保護者を含む）のニーズや力を反映できるような仕組み（行政区単位の施策推進体制、学校の裁量権拡大など）ができる。 社会教育においては、市民自身の自発的な取組を行政がサポートする形に移行する。

幼児教育・学校教育分野

番号	市民からの主な質問・意見・要望	回答、または、今後の対応の考え方
1	学校の現場とプランの内容が乖離していると感じる。	策定委員会や専門部会には、学校の現場のメンバーが含まれており、そうした方々からの意見も踏まえて、プランを作成していく。
2	地域に根ざした教育とは具体的にはどのようなものか？実現されるためにはどうしたらよいか。	学校の裁量権拡大、行政区単位での施策推進体制整備などを進め、地域の特性を活かしながら、学校と地域が密接に連携した教育を想定している。具体的には、今後さらに検討していく。 子どもだけでなく、大人も学校に集って、活動できるようにしていきたい。
3	開かれた学校づくりは80年代の学校教育力の低下に端を発し、地域の教育力が必要になったことから発展してきている。このことを十分理解してプランづくりを進めてほしい。	指摘の経緯・背景を十分に踏まえて、教育プランを策定する。
4	学校を地域に開くことと、防犯対策との兼ね合いをどう考えるか？	トレードオフの関係になる面もあるため、非常に難しい問題であるが、全国的な動向も踏

		まえて、検討していく。 例えば、地域住民が学校で防犯の役割を担うような形も想定される。
5	特色ある学校とはどういう学校を考えているのか。 個性輝く学校づくりは、学校ごとに独自性を出すのか、数校を集めてその中で役割分担するのか。	予算・人事等について、学校にある程度の権限を委譲した上で、各学校が自らの意思で教育内容等を決定することを想定している。 他の学校との差別化を目指すのではなく、各学校において、地域特性などを活かしながら、子どもたちの教育にとって何が重要かという観点から検討を進めた結果、各学校の特色が出ればよい。
6	二学期制の導入の是非についてどう考えるか。 二学期制について、導入ありきで議論しているのではないか。	二学期制については、現在一部の学校で試行されており、地域の特性や試行の結果を考慮して、子どもにとっての最適な制度を検討していく予定である。
7	大規模校・小規模校はそれぞれ良さがあるので、学校再編、適正規模については慎重に検討してほしい。	適正規模については、川崎市としての基準を別途策定しているため、その基準に従って対応していく。
8	国際化に伴い、英語教育だけでなく、多様な国、言語、文化を想定した多文化共生教育を望む。	その方向で検討を行う。
9	子どもの権利条例についての記載が概要版には記載がないが、検討はしているのか。条例がもっと地域市民に浸透していくよう、学校からの発信を充実して、条例が具体化された実践を行ってほしい。 子どもの権利条例が制定されても、学校現場が変わっていない。授業がわからない高校2年生が半数以上いるし、不登校も増加傾向である。不登校は教職員や学校の問題である。地域住民の人権意識も低い。	中間報告には既に記載されており、最終報告においても、指摘の点を踏まえて、検討する。
10	川崎版権利ノートの作成を望む。	プランの検討とは別に、市長部局と連携して検討していく。
11	文部科学省の「心のノート」について議論はなされたのか。	「心のノート」についての個別の議論はしていない。自信と誇りを持ち、ともに支えあって生きる、心の教育については議論をした。具体的な施策は今後検討する。
12	いじめ、体罰、セクハラ等の不祥事の根絶に向け、力をあわせて取り組んでほしい。	指摘の点を踏まえた施策を検討する。
13	心の教育を「強くたくましい人間をつくる」ということだと考えるが、強くたくましい子でない子を切り捨てるような教育であってはならない。	貴重なご意見としてプラン検討の際の参考にする。
14	最近の子どもは、大人を批判する力だけが突出して身に付いている。大人を尊敬したり、友人を尊重する気持ちなくなっている。	貴重なご意見としてプラン検討の際の参考にする。
15	子どもの声が反映される学校づくりが期待される。主役は子ども。子どもの置かれた環境は多様であるため、それぞれのニーズを掘り起こしてほしい。	指摘の点を踏まえた施策を検討する。
16	ぜひ教育プランを実現させて、子どもが安心し、学校に行くのが楽しみになるようにしてほしい。	貴重なご意見としてプラン検討・実施の際の参考にする。
17	多忙化の進む教職員の指導力向上のため、研修以外にも支援策が必要ではないか。	指摘の点を踏まえた施策を検討する。
18	教師同士も高め合うことが必要である。	貴重なご意見としてプラン検討の際の参考にする。
19	学校管理職の登用の問題も検討してほしい。	貴重なご意見としてプラン検討・実施の際の参考にする。
20	教育現場へ学生ボランティアを参加させてほしい。	ボランティアや保護者等との連携を視野に入れ、教育プランを策定する予定である。

家庭・地域における教育分野

番号	市民からの主な質問・意見・要望	回答、または、今後の対応の考え方
1	家庭の教育は地域によって差があるが、どのように展開していくのか。	家庭教育そのものに社会教育が入り込むことは公教育の視点からは無理であるが、地域の協働の子育てという観点から、親自身が喜びを持って子育てができる環境の整備や、相談機能の充実など、地域の教育力として家庭教育を支援していく方向で検討を進める。
2	子どもと社会をつなぐシステムづくりをしてほしい。	指摘の点を踏まえた施策を検討する。
3	子どもの教育を学校だけが責任を負うのではなく、教職員、保護者も含めた、地域社会全体として、川崎の教育の責任を担っていくことが望まれる。そのためには、地域の学校、市民の学校として、学校が評価されることは、必要不可欠だと思われる。開かれた学校を進めることによって、市民が学校教育に参画することは望ましい。	指摘の点を踏まえた施策を検討する。
4	学校教育と社会との連携という視点及び環境教育、地域愛護教育の視点から、学校教育と博物館がより提携していくことによって、次世代を担う子どもたちが博物館に親しみをもち、足を運ぶようなことが望まれる。	指摘の点を踏まえた施策を検討する。
5	わくわくプラザは、多様なトラブルが発生しているため、時間をかけて解決する必要がある。	プランの検討とは別に、現状を把握して、問題解決に向けて努力していく。

社会教育分野

番号	市民からの主な質問・意見・要望	回答、または、今後の対応の考え方
1	生涯学習体系をどのように捉えているのか。社会教育は、学校教育・教育行政と一体として施策されるべき。	生涯学習体系の定義は明確にされていないが、学校教育と社会教育をあわせた乳幼児から高齢者までの生涯を通じた学習活動全体を想定している。専門部会としては、学校教育・社会教育・教育行政の3つに分かれているが、相互の整合性や連携を踏まえながら検討し、一つのプランにまとめていく。
2	地域の教育力の向上に向けて、学習の場の保障をしてもらいたい。	市民の自発的な取組を支援するという観点から、地域における学習の場を充実させる施策を検討する。
3	学習者と教育資源を橋渡しするコーディネーターを制度化してほしい。社会全体が教育資源として活用できるようにしてほしい。	具体的にどのようなシステムにしていくかは今後の課題となるが、指摘の点を踏まえた施策を検討する。
4	高齢化に対応した施策があまり見えない。	川崎市の場合、地域により高齢化の状況が異なるが、指摘の点を踏まえた施策を検討する。
5	「読書のまち・川崎」「音楽のまち・川崎」事業と教育プランの関連性が見えない。	市民の社会教育や文化・スポーツ活動が、まちづくりにつながるような視点での施策を検討する。

教育行政分野

番号	市民からの主な質問・意見・要望	回答、または、今後の対応の考え方
1	地域教育会議の見直しが必要ではないか。行政区地域教育会議を教育委員会の諮問機関として位置付けてはどうか。中学校区地域教育会議と学校教育推進会議を統合してはどうか。	それぞれ設立された経緯・背景が異なるため、様々な要因を整理して、検討していく。地域教育会議は、地域住民の自主的な活動として、すでに多様な取組をしている現状を踏まえ、地域教育会議の機能や責任、教育行政

	地域教育会議を拡大教育委員会にすべきである。中間報告のいろんな箇所にも、地域教育会議が登場しているが、同会議は、地域や子どもの意見を集約して行政に働きかける役割に絞るべきである。	における位置付けについて検討していく。
2	学校教育推進会議に公募の市民を入れてはどうか。	学校教育推進会議の趣旨・目的を整理し、委員の公募制が馴染むかどうか検討する。
3	拡大教育委員会は市に一つか、行政区に一つか、中学校区に一つか。	現段階ではそこまで具体的なことは決定していない。今後の検討課題である。
4	市全体と行政区の教育についての役割の見直しについて説明してほしい。	一つの教育行政部局では、多様化する130万の市民の教育ニーズに対応しきれないため、行政区単位で対応できるよう役割を見直し、よりきめ細やかなサービスが供給できるよう検討していく。
5	教育制度自体が市民のニーズに基づき、柔軟に変化・改善される仕組みを作ってほしい。既成のシステム見直しの際には、現場での実態と理念のすり合わせを十分にしてほしい。市民活動の現場の声を聞かないで改革が進められているような印象がある。	行政区単位や学校単位で、市民や地域のニーズに応じた施策が柔軟に展開できる体制を検討している。
6	学校選択制と地域教育力には矛盾がある。地域の子も同士が遊ぶ環境が大切なので、学校選択制には反対である。	もはや地理的地域＝学区という一元的な捉え方では、多様化する子どもや保護者のニーズに十分対応できない。川崎らしい学校選択のあり方の検討を進める。
7	全国的に学校統廃合の動きがあるが、定時制を希望する生徒が増加しているため、定時制を残してほしい。定時制高校の問題を総合的に教育問題として検討すべきではないか？ 市立高校再編についてどう考えているか？	平成15年度に「川崎市立高等学校教育振興計画」が策定されており、計画に沿った各種委員会で検討も進んでいるので、検討結果を踏まえて盛り込んでいく。
8	校長の権限強化が、教職員への管理強化にならないか。校長のリーダーシップは、教職員の専門性や協調性の向上に対して行われるべきである。	決して校長と教職員の対立関係を想定しているのではなく、校長を中心とした、学校の自主的な判断に基づく取組を促進することをイメージしている。
9	教職員の人事評価の具体的な方向性はどのようなものか。	平成18年度の公務員制度改革に合わせて、公平・公正な評価システムを構築していく。まだ試行の段階であり、適宜見直していく。
10	教員にゆとりが必要である。少人数学級を全市レベルで導入してほしい。	学校における教育業務の現状を分析し、教員が業務に集中できる体制づくりを推進していく。 学級の適正規模については、まだ何人学級が適正であるかの検証はされていないが、子どもにとってより良い学習環境という観点から、検討を進める。
11	学校施設の再整備の見通しについて教えてほしい。	厳しい財政状況を考慮し、優先度の高い順から計画的に整備していく。
12	中学校に調理施設を整備する考えはないか。	現在のところ、中学校に調理施設を整備する考えはない。
13	民間活力の導入とは具体的にどういうことか。	民間企業も含まれるが、中心としては、住民やNPO団体などの力やノウハウを積極的に活かしていくことを想定している。
14	教育予算の減額についてどう考えているか？	本市の財政状況が厳しい中、教育予算についても例外にはなり得ないと考える。 但し、外部監査でも指摘されたように、より効率的な教育行政の推進によって、減額された予算でも、必要な水準のサービスを提供していけるよう考える。

15	教育的な支援が必要とされる児童生徒に対して、具体的な施策はあるのか。 子どもの多い家庭への教育費の支援をお願いしたい。	少子高齢化の問題と絡めて、他の行政部局と連携を図りながら検討していく。
----	--	-------------------------------------

プランの策定方法等について

番号	市民からの主な質問・意見・要望	回答、または、今後の対応の考え方
1	いきいき懇談会のときには、非常に多くの市民が参加して作成した。「市民の力」を活かすのであれば、もっと市民の意見を聞くべきだが、なぜ行わないのか。 いまや、教育は大きな社会問題のひとつである。100校以上の学校関係者や市民が何度も膝を付き合わせて議論した結果、形としてできあがった「いきいきとした川崎の教育をめざして」(1986年)の策定経緯を考えれば、今回の中間報告の市民説明会が3回というのは少なすぎる。中間報告書後に期待している。決まる前に現場に押し付けるのは問題ではないか？	今回も、チラシ、市政だより、教育だよりかわさき、市のホームページ、報道機関への情報提供など、周知については出来る限り行っている。その上で、郵送、FAXに加え、前回のときにはなかった電子メールでも意見を受付けている。 自主的に学校やPTA、地域教育会議等で議論していただいて、行政に提案してほしい。そのための投げ掛けをしていきたい。
2	市民説明会で出された意見への対応の考え方を示して、公開してほしい。	その方向で検討する。
3	専門部会において、傍聴者の発言も認めてほしい。	傍聴者からの直接の発言は、会議の趣旨からして認められないが、ご意見はいつでも承るので、会議開催前に事務局まで、ペーパーで提出していただきたい。
4	社会教育委員と教育プラン策定委員の意見交換ができる機会をもってほしい。	プランの策定委員には、社会教育委員も含まれている。 ご意見やご提案があれば、是非、社会教育委員で、議論し、取りまとめていただいて、策定委員会に対して意見をいただきたい。
5	外国人への広報(情報提供)には、ルビをふるよう徹底してもらいたい。	その方向で検討する。

(3) 子どもたちからの主な意見

アンケート対象

協力していただいた学校

小学校 東桜本小、小倉小、中原小、子母口小、鷺沼小、下布田小、南百合丘小、(各区1校)

中学校 川中島中、塚越中、有馬中、生田中(川崎区、幸・中原区、高津・宮前区、多摩・麻生区から各1校)

校種	小学校	中学校	合計
校数	7校	4校	11校
人数	391	371	762

実施方法

各協力校のスケジュール等にあわせて、授業や帰りの時間、放課後を利用して実施してもらいました。

まず、担任の先生などがアンケートの趣旨を児童生徒に説明した後、「私はこんな学校にしたい」「私はこんな勉強をしたい」「私はこんな街に住みたい」と題されたプリント3枚を配布し、「～がある学校」「こんな先生と勉強したい」「まちでこんな大人の人たちとすごせたらいいな」などの設問に対して、指導者(担任の先生など)の支援を受けながら、児童生徒に自由に意見を記入してもらいました。

学校に関する意見

意見の分野	意見の内容	小学校	中学校	合計
1 校則等について	登下校時間・自転車通学・服装・持物(かばん・水筒・筆記具)・アルバイト	13	82	95

2 施設設備等について	冷暖房(圧倒的にクーラー)・プール・体育館・ 購買・食堂・トイレ・エレベータ・きれいな校 舎・エスカレータ・広い校庭・広い教室	282	383	665
3 授業・学習・部活・行事 等について	授業時間・休み時間・宿題・部活動の種類時間・ 体験的行事・遠足・修学旅行・総合学習・集会・ 読書・学校に宿泊・海外旅行・選択授業	118	131	249
4 対人関係(先生/友人) について	児童生徒への先生の接し方・希望する先生(若 い先生)・いじめ・差別・仲間はずれ・仲良く・ 元気・やさしさ・協力・思いやり・やさしさ	405	223	628
5 給食について	デザート・分量・温度・おいしい給食・バイキ ング方式・弁当持参・学校内での調理	15	3	18
6 その他	通学時間・楽しい学校・学校選択・動物飼育・ スクールバス運行・週休2日・少人数学級・ゆ とり・自然・夢・学習環境・自由・安全・明る い・生徒の意見を取り入れる・伝統	172	105	277
延べ回答数		1,005	927	1,932

勉強に関する意見

こんなことを勉強してみたい

	小学校	中学校	合計
自然環境に関すること	82	9	91
語学(英語やその他外国語)に関すること	46	20	66
スポーツに関すること	27	27	54
各教科の学習に関すること	39	7	46
コンピュータなどに関すること	23	7	30
日本・外国の歴史・文化に関すること	21	4	25
地域社会に関すること	9	10	19
職業・仕事・ものづくりに関すること	23	13	36
遊びや趣味に関すること	19	0	19
専門的な学問(天文・宇宙・福祉・美術・音楽)に関すること	15	4	19
延べ回答数	304	101	405

こんなふうに勉強してみたい

	小学校	中学校	合計
みんなで楽しく	49	10	59
校外学習を取り入れた学習	80	23	103
学習環境のよい所での学習	22	14	36
コンピュータを使った学習	40	14	54
少人数での学習	18	6	24
話し合いをしながらの学習	16	4	20
自然環境と結びついた学習	82	9	91
語学(英語やその他外国語)を取り入れた学習	46	20	66
スポーツ	27	27	54
各教科の学習	126	38	164
延べ回答数	506	165	671

街に関する意見

...な街はいやだ

	小学校	中学校	合計
街全体や川、空気などが汚い	84	126	210
ごみが多い	97	38	135
犯罪・事故・暴力が多い	59	52	111
自然が少ない	36	15	51
騒音が多い	0	10	10
マンションが多い	2	5	7

遊ぶ場所・広場がない	0	6	6
工場が多い	5	0	5
車が多い	4	0	4
その他	4	17	21
延べ回答数	291	269	560

こんな街だといいな、こんな場所があったらいい等	小学校	中学校	合計
広場・公園・遊び場があること	75	80	155
自然があること	80	38	118
プールがあること	16	8	24
きれいな場所	6	15	21
遊園地がある	8	13	21
図書館がある	3	11	14
デパート・ショッピングモールがあること	0	10	10
ふれあいの場があること	8	0	8
静かな場所	0	8	8
その他	7	10	17
延べ回答数	203	193	396

こんな大人の人たちとすごせたらいいな	小学校	中学校	合計
やさしい人	173	140	313
面白い人	12	16	28
マナーがある人	1	17	18
子どものことを考えてくれる人	0	17	17
有名人	14	0	14
環境に気を使う人	13	0	13
明るい人	9	1	10
挨拶してくれる人	0	8	8
知識が豊富な人	7	0	7
遊んでくれる人	5	1	6
タバコをすわない人	5	0	5
お年寄り	3	0	3
その他	0	6	6
延べ回答数	242	206	448

川崎市子ども会議での討議

日 時：平成 16 年 8 月 22 日（日）

場 所：川崎市子ども夢パーク

参加者：18 名

第 1 部で 3 班に分かれて、3 つのテーマについて意見を出し合った後に、第 2 部で出た意見に対して全員で討議をしました。

全体討議での主な意見

「こんなこと勉強したいな。こんなふうに勉強したいな。」について

・「安全に授業を受けたい」とはどういうことが

担任に暴力を振るわれたくない。

・「福祉、地震、原爆の体験談を聞いてみたい」とあるが、原爆については話したくない人がいるので難しいのではないか。

確かに心の傷になっている人もいるだろうが、話したい人もいるだろうからそういう人から聞けばいい。
この意見を言ったのは、体験談を聞くことで、自分の学びを深めたいと思ったからだ。

- ・「職場体験学習をやってみたい」とあるがどういうことをしたいのか。

自分でアポをとって職場体験をしたが、もっとやってみると世界が広がると思う。小学校からも地域の人と同じ仕事をしてみたほうがいいと思う。

「こんな街がいいな。こんな施設がほしいな」について

- ・「政治の看板が必要」とはどういうことか。

今の川崎がどうなっているのかを知るために駅前などに掲示板を立ててほしい。子どもは市政だよりを見ない。

- ・「交差点ごとに警備員が必要」とは、警察のことか、それとも市がやるものか。

自分の近所で実際に行なわれていて、それがよい取組だと思ったから報告した。

- ・「車より自転車を使う」とはどういうことか。

環境面での話だ。

- ・「シンボルとなる建物が欲しい」とあるがどこにつくるのか。

場所はどこでもいい。川崎に1つあればと思った。

「大人たちにはこうしてほしいな。こんな大人になりたいな」について

- ・「道端で説教しない人」とはどういうことか。

実体験としてあった。お年寄りと自転車でぶつかったときに説教された。

- ・最近の大人は知らない子をなかなかしからせてくれないのでいいことではないか。

時間がないときにはされたくない。

- ・そもそも説教されるようなことをしなければいい。

- ・「カッコイイ人になりたい」とはどういうことか

子どもの手本となるような人のこと

- ・「古い知恵を教えてくれる人」とはどういうことか

コマやメンコなどの遊びや、物がなくても生活できること。昔からあることを受け継いでいくということだ。

- ・「たばこを吸わない人」とは、どこでもすわないということか、場所をわきまえてすうということか。

公共の場で吸われると周囲の人の体にも悪い。周りの迷惑を考えて吸ってほしいということだ。

- ・「虐待する元気があるのなら仕事しろ」というのは、元気の問題ではないのではないか。虐待はしたくてするものではないと思うが。

自分の実体験だが、親のストレスで虐待をされた。ストレスは他で発散してほしい。そういう意味で仕事といった。ストレスを子どもにぶつけるのはやめてほしい。

- ・「頼まれもしないのに言うな」とはどういうことをさしているのか。

親などから「お前のために言って言っているんだ」という感じで言われることがある。